

POPsスクリーニング基準を検討する際の課題

PBT基準について

- ・ 国際的な調和が重要

諸外国におけるPBT基準の概要及び基準設定に際しての考え方の整理が必要

既存の12物質についての関連情報の整理が必要

- ・ 残留性は、物性と密接に関連しており、これを表現するには何らかのモデルが必要になるとともに、長距離輸送特性も考慮する必要がある。これらの特性については、残留性及び長距離移動性の評価のためのマルチメディアモデルの使用に関し、OECD/UNEPが2001年10月にワークショップを開催（参考資料7参照）したところであり、そのフォローアップが重要。その一方でモニタリングデータの統計的検討も重要。

長距離移動性について

- ・ 諸外国でもほとんど未着手の課題である。前述のOECD/UNEPの残留性及び長距離移動性に関するワークショップ及びそのフォローアップが重要。
- ・ その際、100～1000km程度の東アジア地域で現実的に予想されるスケールの越境移動に対応する長距離輸送特性への考慮、海洋国家である日本としては、海流を通じた長距離移動についての考慮が必要ではないか？